



議 会 だ よ り

開かれた議会をめざす



目次

議会人事	P2～3
令和6年度決算	P4～7
9月定例議会概要、主な議案	P8

9月定例議会一般質問	P9～13
9月定例議会審議結果	P14～15
議会活動日誌	P16

新たな議会構成で始動

令和7年第3回定例議会の初日(9月3日)に、議長・副議長の改選が行われ、議長に鍵田 貴俊議員、副議長に原田 教光議員が選出されました。

また、各常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の委員が決まり、各委員会の委員長・副委員長が互選されたほか、一部事務組合議会議員などが選任されました。

今後も全議員が町政発展のため全力で取り組んでいきます。

議長・副議長

就任の御挨拶



議長 鍵田 貴俊



副議長 原田 教光

このたび、9月に開催されました定例議会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、第51代議長に就任させていただきました。ここに身に余る光栄と感謝いたしますとともに、改めてその責任の重さを痛感している次第です。

いま町の現状を見ますと、少子高齢化や物価高騰など依然として生活の厳しさが増すなか、様々な課題が将来に向かって山積しつづあります。

そのような中、円滑な議会運営はもとより、二元代表制の一翼担う議会として、町民の皆さまの負託に応えるべく信頼される議会を目指し、誠心誠意、その職責を果たしてまいれる所存であります。

今後とも、町民の皆さまのお声に耳を傾け、ご期待に応えられますよう、議会全員で努力してまいりますので、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

この度、令和7年9月定例議会におきまして、議員各位のご推挙を賜り、副議長を拝命いたしました。身に余る光栄であるとともに、その責任の重さを改めて痛感し、身の引き締まる思いでございます。今後は議長を支える立場として、円滑かつ公正な議会運営に力を尽くしてまいります。

わが国は人口減少や少子高齢化など大きな課題を抱えており、本町も例外ではありません。その中で、二元代表制の一翼を担う町議会として町政のチェック機能と政策立案機能を十分に発揮し、町民の皆様の声をしっかり町政に反映させてまいります。

「未来に向けたよりよいまちづくり」の実現に取り組み、町民の皆様の負託に応えるべく、誠実に職責を果たしてまいれる所存でございます。

今後とも町議会への一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。副議長就任のご挨拶いたします。

常任委員会委員の紹介

文教民生常任委員会



(右から)
 委員 小野谷元伸
 委員 阿井 賢一
 副委員長 西村 みほ
 委員 高橋 功
 委員長 善塔 道代
 委員 鍵田 貴俊
 委員 谷川 優子
 文教民生常任委員会は、主に行政部門における「教育委員会」「健康福祉課」「社会福祉課」「住民課」「税務課」の所管業務に属する事務の調査及び議案や請願、陳情などの審査を行います。

人口減少や少子高齢化が進む中での、学校教育、子育て支援、社会福祉の充実、また、国民健康保険や後期高齢者医療、国民年金などを審議しております。

総務経済常任委員会



(右から)
 委員 松井由美子
 委員 原田 教光
 副委員長 古川 徹
 委員 中村 義則
 委員長 小川 浩安
 委員 内山 菊敏
 委員 細田 一男
 総務経済常任委員会は、主に行政部門における「総務課」「企画政策課」「財政課」「農林水産課」「商工観光課」「まちづくり課」「ガス課」の所管業務に関する事務の調査及び議案や請願、陳情などの審査を行います。

主な取り組みとして、防災・防犯、町の総合計画、農漁業及び商業の発展、環境美化など安全で安心して暮らせる町づくりを念頭に、調査・活動を行ってまいります。

議会選出の一部事務組合議会議員・監査委員

東金市外三市町清掃組合議会議員
 古川 徹
 小川 浩安
 山武郡市広域水道企業団議会議員
 細田 一男
 (規約第6条第2項本文にかかる議員)
 中村 義則
 (規約第6条第2項ただし書きにかかる議員)
 千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員
 原田 教光
 監査委員
 内山 菊敏

議会改革推進特別委員会

町民に開かれた議会を目指し、時代に即したものとなるよう、議会運営の改善を行います。

◎委員長 高橋 功
 ○副委員長 古川 徹
 委員 細田 一男、善塔 道代、中村 義則

議会運営委員会

議会の運営や会議規則、委員会条例などに関することを協議します。

◎委員長 中村 義則
 ○副委員長 小川 浩安
 委員 高橋 功、細田 一男、善塔 道代、古川 徹

4025万円の黒字決算

歳入

69億3137万円

【令和5年度 66億6297万円】
(対前年度比 +2億6840万円)

歳出

66億8402万円

【令和5年度 63億3597万円】
(対前年度比 +3億4805万円)

前年度と比較した主な増減理由

繰入金 2億699万円の増

令和6年度決算額 3億5015万円
(令和5年度決算額 1億4316万円)
財政調整基金繰入金等の増



消防費 1億2063万円の増

令和6年度決算額 4億9705万円
(令和5年度決算額 3億7642万円)
旧作田保育所解体工事等の増



町債 1億1170万円の増

令和6年度決算額 2億7370万円
(令和5年度決算額 1億6200万円)
緊急防災・減災事業等の増



徴税費 1億934万円の増

令和6年度決算額 1億9272万円
(令和5年度決算額 8339万円)
定額減税調整給付金等の増



町税 9074万円の減

令和6年度決算額 14億2063万円
(令和5年度決算額 15億1137万円)
定額減税等による町民税等の減



教育総務費 7947万円の増

令和6年度決算額 2億3277万円
(令和5年度決算額 1億5330万円)
学校施設建設事業等の増



地方交付税 8530万円の増

令和6年度決算額 24億421万円
(令和5年度決算額 23億1891万円)
普通交付税の増



保健衛生費 7678万円の減

令和6年度決算額 3億7967万円
(令和5年度決算額 4億5645万円)
新型コロナウイルスワクチン接種事業等の減



実質収支 2億



令和6年度決算（主要な自主財源）	
町税	14億2063万円 (対前年比 ▲9074万円)
主だった内訳	
町民税	個人 5億5469万円 (対前年比 ▲7324万円)
	法人 5339万円 (対前年比 ▲966万円)
固定資産税	6億4701万円 (対前年比 ▲206万円)

歳入

●自主財源 36.6%

町税	20.5%	14億2063万円
繰入金	5.1%	3億5015万円
その他(自主財源)	11.0%	7億6490万円

●依存財源 63.4%

地方交付税	34.7%	24億421万円
国庫支出金	10.9%	7億5864万円
県支出金	5.5%	3億8269万円
町債	4.0%	2億7370万円
その他(依存財源)	8.3%	5億7645万円

歳出

議会費	1.3%	8508万円
総務費	18.5%	12億3608万円
民生費	31.1%	20億7588万円
衛生費	9.3%	6億2153万円
農林水産業費	4.3%	2億8734万円
商工費	2.8%	1億8583万円
土木費	4.6%	3億1071万円
消防費	7.4%	4億9705万円
教育費	9.2%	6億1227万円
災害復旧費	0.1%	943万円
公債費	8.6%	5億7459万円
諸支出金	2.8%	1億8823万円

各会計の決算状況

会計名		歳入	歳出	差引額	繰越額
一般会計		69億3137万円	66億8402万5千円	2億4734万5千円	708万8千円
【特別会計】	給食事業会計	1億3884万8千円	1億3884万8千円	0	0
	国民健康保険会計	20億6139万3千円	20億1130万8千円	5008万5千円	0
	後期高齢者医療会計	2億7842万4千円	2億7560万6千円	281万8千円	0
	介護保険会計	20億6879万1千円	20億1681万3千円	5197万8千円	0
	病院事業会計	3億3912万4千円	3億3912万4千円	0	0
【企業会計】	農業集落排水事業会計				
	収益的收入及び支出	1億5307万3千円	1億4590万8千円	716万5千円	0
	資本的收入及び支出	1億376万9千円	1億847万7千円	▲470万8千円	0
	ガス事業会計				
	収益的收入及び支出	3億8179万2千円	3億8337万3千円	▲158万1千円	0
	資本的收入及び支出	0円	5382万7千円	※▲5382万7千円	0

※資本的收入額が資本的支出額に不足する額5382万7千円は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんしました。

▲はマイナス

します —このような事業に財源が使われました—

1945
万円

財源： 県 47万円
地方債 1890万円
町 8万円



消防自動車

第8分団第3部に配備している消防自動車を更新しました。

600
万円

財源： 国 239万円
県 150万円
町 211万円



空家等実態調査業務委託料

空家等対策計画の策定に必要な実態把握調査を実施しました。

2882
万円

財源： 町 2882万円



学校給食費無償化事業

小中学校給食費を無償化しました。

1647
万円

財源：地方債 930万円
町 717万円



中央公民館照明改修工事・ 舞台吊物等改修工事

中央公民館の照明や舞台吊物等を改修工事しました。

決算について調査をしました

文教民生常任委員会

Q.小学校費の校務支援システム借上料(3,642,210円)、中学校費の校務支援システム借上料(1,214,070円)を導入した効果は。

A.【教育委員会】令和6年4月から本格稼働し、児童生徒の出欠情報から成績に至るまで様々なデータが管理でき、学期末の通知表作成時や学年末における生徒指導要録等作成時においてデータ整理が容易になりました。働き方改革の観点から見ても効果はあると考えております。

Q.軽自動車税の徴収率が前年度比で0.82%上がっているが、理由は。

A.【税務課】督促状を送付後に、早期の電話での納付確認を行うなど徴収率向上に向け対策を行っております。

Q.健康増進事業補助金84万円が県より補助されておりますが、事業の内容と対象者の受診人数は。

A.【健康福祉課】本補助金の対象事業は肝炎ウイルス検診・健康増進法による健康診査(生活保護受給者対象分)・節目年齢に実施する歯周疾患検診・前立腺がん検診等に対する経費について県から補助され、補助率は2/3となります。

令和6年度の受診者数は肝炎ウイルス174名、健康診査10名、肝炎ウイルス検診174名、歯周疾患検診23名、前立腺がん検診423名です。



文教民生常任委員会

議会が注目した事業を紹介

1億
9474
万円

財源：町 1億9474万円



ふるさと納税事業

充実した返礼品を用意し町の知名度向上と地場産業の振興を図りました。

8890
万円

財源：地方債 8880万円
町 10万円



旧作田保育所解体工事

作田地区津波避難タワー建設のため、旧作田保育所を解体しました。

7022
万円

財源：地方債 4380万円
国 2483万円
町 159万円



橋りょう補修事業

浜川1・3号橋等の補修工事を行いました。

1億
3663
万円

財源：地方債 550万円
基金繰入金 1975万円
九十九里町 1億1138万円

統合小学校・中学校校舎建設
基本設計説明会

日時 令和7年12月7日(日)午前10時
場所 町中央公民館 講堂(片貝2915)

学校施設建設事業

学校施設建設のため、用地測量・地質調査・設計を行いました。

各常任委員会で令和6年度

総務経済常任委員会

Q.交通安全対策費にカーブミラーに係るものも含まれるとのことだが、必要か所に全て対応できているのか。

A.【総務課】新設4か所については自治区長や住民からの要望により現地確認し、適宜対応しました。修理箇所11か所についても随時対応しております。

Q.需用費の工事請負費から修繕費に予算流用されている項目があるが、主な理由は。

A.【商工観光課】海岸に設置されている海水浴用放送設備の配線が盗難されたことにより、修繕費(473,000円)として流用しています。

Q.令和6年度に購入したイノシシ用の罠は、アライグマ用にも代用できるのか。

A.【農林水産課】町で所持しているイノシシ用の罠はイノシシが罠内部の紐に引っかかると作動するものとなってお

り、アライグマのような小型の動物では作動しない可能性があります。

Q.公園管理使用料について、説明では約21万円歳入が増加したとのことであったが、内訳は。

A.【まちづくり課】公園管理使用料全体では大きく3つに分かれており、その中で、つくも学遊館は34,450円の減、トレーニングルームは218,030円の増、資料館等は63,100円の増であり、フィットネスつくもの利用者が多かったことから合計で246,680円の増であります。



議会に上程された主な内容を紹介します!!

9月定例議会

会期 ● 9月3日～9月19日

令和7年第3回定例議会は、町長から提出された議案21件が審議され、すべて原案通り承認、可決、認定、同意いたしました。

その他、7件の報告がありました。

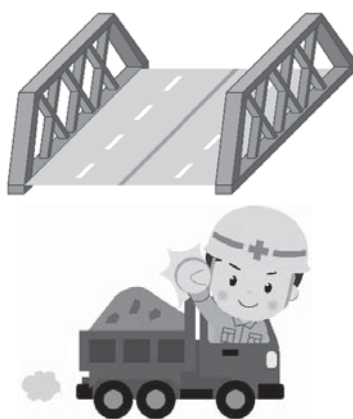
一般会計補正予算(第3号)

補正額は、9735万円を増額し、補正後の歳入歳出予算の総額を70億1287万4千円とします。

〈主なもの〉

戸籍住民基本台帳費システム改修委託料385万円、児童措置費システム改修委託料321万2千円、物価高騰対応重点支援臨時交付金(医療機関等)610万円、浜川排水機場改修工事4178万9千円、橋りょう補修工事532万円、給与改定等による人件費

2158万8千円など。



国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

(第1号)

補正額は、134万2千円を増額し、補正後の歳入歳出予算の総額を19億1634万2千円とします。

〈内容〉

子ども・子育て支援金制度に対応するためのシステム改修委託料134万2千円。

ガス事業会計補正予算(第1号)

補正額は、収益的収入40万7千円、収益的支出95万7千円をそれ

ぞれ減額し、資本的支出を565万1千円増額します。

〈内容〉

電気ガス料金負担軽減支援の再開、4月の人事異動に伴い配置職員が確定したこと等による人件費、および建設改良費。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正

「育児休業、介護休業等育児又は

は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」及び「地方公務員の育児休業等に関する法律」等の一部改正に伴い、子の年齢に応じた職員の柔軟な働き方を実現するための措置の拡充や、介護離職防止を図るため、条例を改正します。

財産の取得

町消防団第2分団第2部に配備している消防自動車を更新するため、購入契約を締結します。

取得財産：消防自動車(1台)
契約の相手方：(株)野口ポンプ製作所

契約金額：2866万4200円

(税込)



教育長の任命

教育委員会教育長の鈴木弘氏が任期満了となることから、引き続き鈴木氏を任命することに同意しました。

教育委員会委員の任命

教育委員会委員の川崎修氏が任期満了となることから、新たに斉藤慎悟氏を任命することに同意しました。

一般質問

傍聴人数
今回は、**20人**でした。

九十九里町のことが聞きたい

西村 みほ 議員 p10

- ◆空き家対策について
- ◆町職員の働き方改革について
- ◆子育て支援について

松井 由美子 議員 p11

- ◆災害対策について
- ◆投票率の向上への取り組みについて

善塔 道代 議員 p12

- ◆奨学金返還支援制度について
- ◆带状疱疹ワクチン接種について
- ◆防犯対策について

谷川 優子 議員 p13

- ◆CCS（二酸化炭素回収・貯留）事業構想について
- ◆带状疱疹ワクチン予防接種の助成について
- ◆マイナンバーカード制度の運用について

※紙面の都合により掲載できなかった質問内容は、町のホームページからご覧いただけます。

住み続けたい町「九十九里」を目指して

にしむら
西村 みほ 議員



空き家対策

問 本町の空き家対策の現状について。

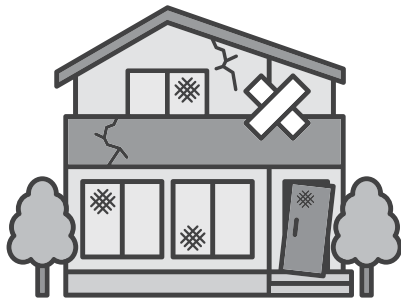
答 【町長】住民からの情報提供を基に現地調査を行い、適正に管理されていないと認められる場合には、町環境美化条例に基づき所有者へ適切な管理をするよう指導を行っております。

問 今後の空き家対策に関する町の方針は。

答 【町長】令和6年に、本町の区域内にある空家等の状況を把握するため、空家等実態調査を実施いたしました。令和7年度はそれを踏まえて、空家等対策計画の策定を進めております。

問 空家等対策計画で、姉妹都市「上市町」のゼロ円空家制度※の導入について検討はされているか。

答 【まちづくり課長】町直営のゼロ円空家制度の導入は予定しておりませんが、空き家・空き地バンクに登録できない物件の受け皿として民間が運営する「0円マッチング」への物件登録について、所有者に周知を行い、本町の空き家・空き地の有効活用を図ってまいります。



(※) 上市町の「ゼロ円空家制度」

町内にある空き家の所有者が譲渡価格0円で登録することができる仕組みであり、購入希望者は無償で家を譲りうけることが可能となります。

ココが聞きたい！ 一般質問

職員の働き方改革

問 フレックスタイム制、週休3日制など、柔軟な勤務形態の導入検討は。

答 【町長】町としても職員の働きやすい勤務環境の整備は大変重要であると考えております。住民サービスの低下を招くことのないよう、職員のニーズを調査し、先進自治体の事例を参考にしながら働き方改革に取り組んでまいります。

問 町職員に関わる兼業(副業)許可の実態について。

答 【町長】職員のキャリア形成や地域活動への参画が、公務サービスの向上や人材確保につながるとの観点から、兼業しやすい職場環境の整備にも配慮するよう本年6月に総務省から示されたところです。今後、国の考え方も踏まえつつ、法令及び関係規定に基づき、適切に対応してまいります。

子育て支援

問 妊娠時から出産・子育てまで一貫した「伴走型相談支援」にオンライン相談を取り入れることに関しての進捗状況は。

答 【町長】より手厚く、適切な支援を行うため、対面による相談を基本としているところですが、相談者の利便性にも配慮し、ライン町役場を活用し、相談内容によってはラインでの対応を行うとともに、町からの情報提供や面談の予約等にもラインを活用してまいります。

まとめ

空家対策、子育て支援に関しても重点的に取り組むと町長がおっしゃっておりますので、民間業者と連携しながら職員の負担を増やさず、定住人口を増加させ、子育てしやすい自治体を目指していただけますよう要望いたします。

海と共に生きる安全・安心の町づくりを！

まつ い ゆ み こ
松井 由美子 議員



災害対策

問 避難所での情報提供について町の対応を伺います。

答 【町長】避難所での情報提供は、避難者が安心して避難所生活を送るためには、非常に重要なものであると認識しております。一方で、発災直後におきましては、まず避難所を開設し、避難者を安全に受け入れることが最優先となります。また、トイレや洗面所の場所といった避難所での生活に必要な情報につきましては、掲示を通じて速やかにお伝えするよう努めております。災害情報は、ラジオなどにより避難されている方に

提供しますが、個人の携帯電話も活用できるよう、充電用の電源の確保にも努めてまいります。

問 避難所での防暑対策については。

答 【町長】夏季における避難所は、室内温度も上昇しやすい環境にあり、熱中症の発生が危惧されております。今回の津波警報により避難所として使用された九十九里中学校の体育館は、構造上、外気温の影響を受けやすく、また、冷房設備が整っていないため、まず窓や出入口の開放による放熱、遮光カーテンによる日射遮蔽を行うことを基本としております。加えて、大型扇風機や冷風機など使用するほか、飲料水の配布を行い、熱中症の予防に努めているところです。また、高齢者や乳幼児、体調不良者については、必要に応じて冷房設備が整備されている教室を避難場所として開放し、対応しているところです。今後、

避難者の健康と安全確保に向け、災害協定に基づく資機材の調達や空調設備を有する避難所への分散避難など、状況に応じた対応に努めてまいります。

問 職員の避難所運営訓練はどのように実施しているのか。

答 【町長】町では、災害時における円滑な避難所運営を確保するため、役場職員を対象に非常参集訓練をはじめ、避難所設営訓練、炊き出し訓練、図上訓練などを実施しています。訓練は、避難所開設から受け入れ、避難者の名簿管理や物資配布、生活支援、情報提供までの一連の業務を想定し、職員が役割分担に従って行動する実践的なものとなっております。初動対応の迅速化や情報伝達の精度向上、避難者への安全・安心の確保につなげております。なお、避難所の運営については、7月30日に発表された津波警報への対応を検証し、マニュアルの見直しも行い、さらなる円滑な避難所運

営に取り組んでまいります。

問 感震ブレイカーの補助制度の創設について町の考えは。

答 【町長】近年発生した大規模地震におきましては、電気を原因とする火災、いわゆる電気火災が多く発生しています。町では感震ブレイカーの設置は地震発生時における電気火災の防止に有効な手段であると認識しており、町主催の防災訓練時に関連企業と連携し、普及啓発活動を行ってきたところでございます。また、感震ブレイカーについては、国の防災基本計画において、「普及に努めるもの」とされるところであり、町の地域防災計画にも位置付けております。今後、関係者と連携し、感震ブレイカーの必要性や電気火災の危険性について、より一層、町民への周知を図ってまいります。なお、補助制度の導入については、国や県の支援制度の状況などを踏まえ適切に対応してまいります。

ココが聞きたい！

一般質問



九十九里町最高！と言えるまちづくりを！

ぜんとう みちよ
善塔 道代 議員



奨学金返還支援制度

問 奨学金返還支援の補助を受ける対象者の要件は。

答【町長】人口減少対策として、奨学金返還者の経済的負担を軽減させることにより、本町への定住、特にUターンを促すことを目的に、九十九里町奨学金返還支援事業補助金を開始。本町に住民登録があり、3年以上居住する意思があることや、40歳未満で就労していること、また、大学等の在学中に奨学金を借り、本年4月1日以降に、自らその奨学金の返還を開始するなどの要件を満たす方が、補助対象者となります。

問 地方就職学生支援事業について伺う。

答【企画政策課長】奨学金返還支援事業を実施している地方公共団体のみが交付対象となります。本町は、本年度から「奨学金返還支援事業」を開始し、交付対象団体となりましたので、今後、地方就職学生支援事業の事業化についても検討してまいりたいと考えております。

带状疱疹ワクチン接種

問 定期接種対象者への取り組み状況は。

答【町長】令和7年度から定期接種のB類疾病に位置付けられ、年度内に65歳を迎える方を対象に実施しております。また、経過措置として、65歳以上の5歳刻みの方も定期接種の対象となります。接種費用に対し、生ワクチンは2,500円、不活化ワクチンは1回あたり6,500円、2回まで助成しております。



問 定期接種の対象年齢以外に對しての町単独補助の実施は。

答【町長】現在のところ、町単独の補助の実施については考えておりません。

防犯対策

問 防犯カメラの設置について、県の補助事業の中で「市町村から自治会等への間接補助を含む」とあります。町から自治区へ希望を聞くような対応は。

答【総務課長】本年4月に自治区長を対象とし、防犯カメラの設置について意向調査を行いました。現在、調査結果を基に設置希望箇所における必要性の検証を東金警察署と行っているところであります。今後、検証状況に応じ、設置希望箇所についての方針を検討してまいります。

問 自治区からの防犯カメラ設置の要望は何箇所、検証に要する時間は。

答【総務課長】自治区から防犯カメラの設置要望は109箇所、寄せられております。これらの設置要望箇所につきまして、防犯上の有効性や設置の必要性等を精査するため、東金警察署において現地の状況確認や犯罪発生状況の分析など、詳細な検証を進めていただいております。そのため、全ての候補地について検証が完了するまでには、一定の期間を要する見込みであります。

問 家庭用防犯カメラの補助支援は。

答【総務課長】先進自治体において、カメラの購入や設置にかかる費用と補助している事例も承知しております。そういった中で、家庭用の防犯カメラの補助については、検討課題として整理しているところであります。

ココが聞きたい！ 一般質問



大企業の排出する二酸化炭素を九十九里沖に貯留

たにかわ ゆう こ
谷川 優子 議員



CCS(二酸化炭素回収・貯留)事業構想

問 発電所や石油精製所などから排出される二酸化炭素(CO₂)を回収・輸送して地中に貯留する技術がCCSです。日本製鉄所君津地区及び京葉臨海工業地帯の複数産業より排出される二酸化炭素を道路地中に埋め込んだパイプラインで九十九里外房沖の地中に貯留する事業が進められようとしています。CCS事業は大手電力会社などが50年に向けて化石燃料を使い続ける仕組みをつくります。また地中深くCO₂を圧入すると自体、環境に大きな負荷を与

えるもので地震誘発リスクも指摘されています。CCS事業は今後10年間に官民で4兆円の投資を見込んでいます。ところがCO₂を確実に安定的に分離・回収、輸送、貯留する技術は確立していません。リスクが高く経済性がない事業に巨額の国費と民間投資を促しています。九十九里海岸が貯留地の候補地になっています。九十九里町民への説明は、いつ頃予定されているのか。

答【町長】本年7月より、パイプラインの沿線市町の住民説明会が内房地域から順次開催され、事業概要の説明と地域住民からの意見聴取が行われたと伺っています。本町においては、パイプライン沿線の住民説明会を本年10月から12月の間に開催する予定と聞いております。また、試験掘削についての住民説明会も予定しているとのことですが、現時点では開催日は決まっています。

問 回収された二酸化炭素の貯留地が九十九里海岸に設置計画になっていますが、町の危険性の認識について伺います。

答【町長】今後、九十九里沖で安全に貯留可能かを確認するための地下地盤の調査を進め、その結果を基に、法律に基づいた安全対策が講じられ、安全と認められたうえで、国により事業化の可否が判断されると伺っております。

带状疱疹ワクチン予防接種の助成

問 令和7年度から国は带状疱疹ワクチンの定期予防接種の一部助成が実施されることになりました。しかし対象の年齢以外の接種や対象期間外の接種は全額自己負担となります。県内市町村の带状疱疹ワクチン接種助成制度が行われている自治体は24年現在で28自治体となっています。50歳以上の定期接種非該当者への任意接種の助成について

て伺います。

答【町長】50歳以上の定期接種非該当者への任意接種の助成について現在のところ実施予定はありません。

問 带状疱疹ワクチンの定期接種対象者が50〜64歳について国の責任において拡充ができるよう要望することが必要ではないでしょうか。

答【健康福祉課長】带状疱疹の定期接種については、今年の4月から開始したところです。今後の接種率や罹患状況等に注視し、必要に応じて国への要望も検討していきます。



ココが聞きたい!

一般質問



結果を公開

9月定例議会

議案番号	上程された議案名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
		議決結果	小野谷元伸	阿井賢一	松井由美子	西村みほ	小川浩安	原田教光	鐘田貴俊	中村義則	古川義徹	内山菊敏	善塔道代	細田一男	高橋功	谷川優子
町長提出議案																
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて 【令和7年度九十九里町一般会計補正予算(第2号)】 令和7年7月20日執行の参議院議員通常選挙の実施等のため増額補正	承認	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	令和7年度九十九里町一般会計補正予算(第3号) 8ページ参照	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	令和7年度九十九里町給食事業特別会計補正予算(第1号) 人事異動等による人件費の減額補正	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	令和7年度九十九里町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 8ページ参照	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	令和7年度九十九里町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) システム改修委託料による増額補正	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	令和7年度九十九里町介護保険特別会計補正予算(第1号) 令和6年度の事業費確定等による予算の増額補正	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	令和7年度九十九里町農業集落排水事業会計補正予算(第1号) 給与改定による人件費の増額補正	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	令和7年度九十九里町ガス事業会計補正予算(第1号) 8ページ参照	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	令和6年度九十九里町一般会計歳入歳出決算の認定について 4～7ページ参照	認定	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	欠
議案第10号	令和6年度九十九里町給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について 4～7ページ参照	認定	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	欠
議案第11号	令和6年度九十九里町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 4～7ページ参照	認定	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	欠
議案第12号	令和6年度九十九里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 4～7ページ参照	認定	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	欠
議案第13号	令和6年度九十九里町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について 4～7ページ参照	認定	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	欠
議案第14号	令和6年度九十九里町病院事業特別会計歳入歳出決算の認定について 4～7ページ参照	認定	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	欠
議案第15号	令和6年度九十九里町農業集落排水事業会計決算の認定について 4～7ページ参照	認定	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	欠

9月定例議会

議案番号	上程された議案名	議決結果	議席番号													
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
			小野谷元伸	阿井賢一	松井由美子	西村みほ	小川浩安	原田教光	鏑田貴俊	中村義則	古川徹	内山菊敏	善塔道代	細田一男	高橋功	谷川優子
議案第16号	令和6年度九十九里町ガス事業会計決算の認定について 4～7ページ参照	認 定	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	欠
議案第17号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 8ページ参照	可 決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	財産の取得について 8ページ参照	可 決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	教育委員会教育長の任命につき議会の同意を求めることについて 8ページ参照	同 意	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて 8ページ参照	同 意	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの中期目標を定めることについて 地方独立行政法人法第25条第1項の規定により、東金九十九里地域医療センターの達成すべき業務運営に関する4年間の中期目標を定める	可 決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 ※議長（鏑田貴俊議員）は採決に加わりません。

町長提出報告		※報告のみ(採決なし)
報告第1号	令和6年度九十九里町健全化判断比率の報告について 国の定める基準を下回っており、健全財政を維持	
報告第2号	令和6年度九十九里町農業集落排水事業会計の資金不足比率の報告について 国の定める基準を下回っており、健全財政を維持	
報告第3号	令和6年度九十九里町ガス事業会計の資金不足比率の報告について 国の定める基準を下回っており、健全財政を維持	
報告第4号	私債権の放棄について(ガス料金)	
報告第5号	地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの経営状況について	
報告第6号	地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの令和6事業年度における業務実績に関する評価結果について	
報告第7号	地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの第4期中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務実績に関する評価結果について	

行ってきました!!

7/11 山武郡市議会議員研修会

少子高齢化・人口減少に伴う地域の問題点から、持続可能なまちづくりについて考え、ご講演をいただきました。

【内容】「持続可能なまちづくり」

【講師】一般社団法人Maniken 代表理事

中村 健氏



7/18 町議会議員研修会

議会での質問や質疑について改めて考察し、今後の議会運営や議会改革に対する課題について学びました。

【内容】「その質問、何のため？ 議員の質問を再検証！
—議会改革の到達点を活用する—」

【講師】大正大学公共政策学科教授

江藤 俊昭氏

7/31 千葉県町村議会議員研修会

地方議員として、日本の食料問題や地域の農業について、また異常気象による災害リスク回避に向けた情報収集・活用方法等について学びました。

【内容】「今後の食糧情勢と日本農業の課題」

【講師】東京大学大学院 農学生命科学研究科 特任教授
鈴木 宣弘氏

【内容】「気候変動・異常気象とこれからの防災・減災対策
～災害リスクを回避するための天気予報の見方・聞き方・活かし方～」

【講師】株式会社南気象予報士事務所

黒木 愛子氏



12月定例議会予定

12月	4日(木)	開会／一般質問
	5日(金)	一般質問
	9日(火)	質疑・採決

※本案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会で協議されます。

9月定例会に行われた詳しい内容は、町のホームページをご覧ください。

九十九里町 議会

検索

ご意見・ご感想などのあて先

〒283-0195 九十九里町片貝 4099番地
九十九里町議会事務局

九十九里町 議会事務局 お問い合わせ

検索

議会だより
編集委員会

委員長
委員

谷川 優子
内山 菊敏
松井由美子

副委員長

西村 みほ

原田 教光
小川 浩安
阿 井 賢一
小野谷元伸

議会活動日誌

2025年7月～9月



7月	1日	社会を明るくする運動推進委員会
	3日	町議会行政視察研修
	4日	
	11日	山武郡市議会議員研修会
	14日	学校給食センター運営委員会
	17日	東金九十九里地域医療センター評価委員会
	18日	九十九里町議会議員研修会 美しい作田川を守る会定期総会
	22日	例月出納検査
	24日	山武郡市議会議長会視察研修
	25日	
8月	29日	生涯学習推進協議会会議
	31日	議会だより編集委員会 千葉県町村議会議員研修会
	1日	東金九十九里地域医療センター評価委員会
	2日	ふるさとまつり
	6日	山武郡市広域行政組合議会臨時会 第1回定期監査(財政課・企画政策課)
	7日	第1回定期監査(総務課・住民課・税務課)
	8日	東金市外三町清掃組合議会全員協議会
	13日	令和6年度決算審査(企画政策課・ 税務課・財政課)
	14日	令和6年度決算審査(総務課・社会 福祉課・住民課)
	18日	令和6年度決算審査(健康福祉課・ 商工観光課・農林水産課) 山武郡市広域水道企業団議会8月定 例会・協議会 民生委員推薦会
9月	19日	令和6年度決算審査(教育委員会 事務局・まちづくり課・伝票調査) 地域福祉計画策定委員会
	20日	例月出納検査 九十九里地域水道企業団理事会
	21日	自衛隊協力会総会 山武郡市広域行政組合議会定例会
	25日	議会運営委員会 全員協議会
	3日	9月定例議会
	4日	9月定例議会 議会運営委員会
	5日	9月定例議会 議会だより編集委員会
	9日	9月定例議会
	11日	総務経済常任委員会【決算説明】 (財政課・商工観光課・農林水産課・ガス課)
	12日	総務経済常任委員会【決算説明】 (総務課・まちづくり課・企画政策課)
	16日	文教民生常任委員会【決算説明】 (教育委員会事務局・税務課・住民課)
	17日	文教民生常任委員会【決算説明】 (健康福祉課・社会福祉課)
	19日	9月定例議会 議会運営委員会
	22日	例月出納検査
	27日	九十九里小学校運動会